薩摩川内市農業委員会　農地利用最適化推進委員候補者の公募状況（個人推薦）

番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴		公職歴		農業経営の状況		応募する地区名	認定農業者区分	推薦者						推薦を受ける者の意見
					年月	勤務先等	年月	公職名	作物・家畜等	耕作面積・頭羽数			代表者	氏名	性別	年齢	職業	推薦の理由	
1	前田　千代子	女	69	無職	S50.4～S56.11 H13.4～H17.3 H17.5～R3.3	鹿児島銀行 鹿児島県立北薩広域公園 すわこども園	R元.4～R2.3 R5.4～R7.3	健やか支援アドバイザー 健やか支援アドバイザー	さといも・深ネギ	10a	樋　脇		○	木場　祐二郎	男	62	農業	農地の荒廃について、いろいろ心配されており、相談を受けていた。 勉強熱心で農業委員会の取組みに協力していただけると思い推薦します。	私の周りの農地が急速に荒廃してきています。 後継者もなく、今後どうなっていくか懸念しています。 農業委員を通じて、農業行政等を勉強して、担い手を探し、紹介できるよう活動したいと考えています。
														馬渡　義文	男	71	農業		
														山路　一浩	男	61	農業		
2	徳永　正幸	男	67	自営業	S52.7～H26.3 H6.5～ H27.4～	川内郵便局 就農 Vテック	H13.5～H17.5 H31.4～R2.3 R3.6～ R5.5～	永利小学校PTA副会長 浦田自治会会長 永利保育園監事 農地利用最適化推進委員	水稲 季節・野菜	30a 0.4a	永　利		○	丸山　亨	男	71	農業	水稲を中心に農業経営をされ、地域全般に精通し、農家の良き理解者である。 また、一期経験され、知識豊かであり、適任者と思います。	当地区は、旧川内市で最初に行われた基盤整備地区（S54年）でもあり、高齢化に伴い、近年のうちに後継者もなく離農者がでるようであります。 そこで、地域計画等により、遊休農地が出ないよう農地維持に努めてまいります。
														石原　芳博	男	77	農業		
														徳永　勇二	男	65	農業		
3	井ノ下　正明	男	66	農業	S29.4～H15.3 H15.4～H28.3 H29.5～R5.5	さつま川内農業協同組合 北さつま農業協同組合 北さつま農業協同組合　監事	H7.4～	土地改良区理事	水稲 WCS稲	４０ａ １８ａ	永　利		○	徳永　武次	男	76	農業	JA職務歴があり、現在、野菜を中心とした農業を営んでいる。 地域の実情にも精通しており、農業に関する識見を有している。	現在、米の価格高騰など、農業の重要性が高まる中で、農家人口の減少、耕作放棄地の拡大、生産資材の高騰等、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。 今後、農業従事者が働きやすく、儲かる農業になるように、後継者や担い手の確保、耕作放棄地の発生防止など、農地を有効活用し、最適化されるように地域に協力し、農業発展に努めたいと思います。
														峯元　敏郎	男	73	農業		
														徳永　功	男	74	農業		
4	春田　実	男	75	農業	S44.1～S50.3 S50.4～R3.10	株式会社亀澤自動車 協業組合川内車検センター	R元.4～R8.2 R5.4～R6.3 R5.5～	土地改良区理事 上之原自治会会長 農地利用最適化推進委員	水稲 野菜	12a 4a	育英・八幡		○	坂元　重良	男	78	農業	農業経験が豊富で知識が多く教えてくれます。	農家の現状が、跡継ぎがいません。 地方に住んでいる相続人（子供）が時々実家に畑と草刈りをしに来て、私に相談に来ます。 遊休農地を増やさないよう、子供達にアドバイスしていきます。
														加治屋　宏一	男	74	会社員		
														鹿島　太一	男	39	会社員		

薩摩川内市農業委員会　農地利用最適化推進委員候補者の公募状況（個人推薦）

番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴		公職歴		農業経営の状況		応募する地区名	認定農業者区分	推薦者						推薦を受ける者の意見
					年月	勤務先等	年月	公職名	作物・家畜等	耕作面積・頭羽数			代表者	氏名	性別	年齢	職業	推薦の理由	
5	辻　孝一郎	男	71	農業	S56.4～H29.3	JA北さつま農業協同組合	H29.4～H31.3 R5.5～	宮崎原自治会会計 農地利用最適化推進委員	やまのいも	20a	隈之城		○	永留　直志	男	82	農業	JA北さつま農協を定年退職後、農業に従事しながら、長年の経験を生かし、地域農家の良き相談相手として、誠実に取り組んでおられるので推薦しました。	農地利用最適化推進委員としての経験を基に、今後も引き続き地区農業への貢献を行い、農業振興を図っていきたい。
														福留　時和	男	87	農業		
														福元　政一	男	75	農業		
6	青﨑　昌己	男	60	自営業	S61.4～	青崎タイヤ	H22.12～ H25.4～	薩摩川内市民生委員 十原自治会会長	水稲	43.66a	川内・滄浪・寄田		○	有馬　康夫	男	74	農業	寄田地区は人口減少と農業経営者が少なくなっている現状で、青﨑氏は、昔から農地を守りながら稲作を行っている。 また、地区のリーダー的な立場で寄田地区を盛り上げている。	地区において、近年、担い手の減少、農地の利用集積の限界、耕作放棄地の増加が懸念されます。 現在、行っている農業の経験を活かし、地域農業の発展を図るための農地の利用、担い手の育成に努めたい。
														青﨑　宏文	男	58	農業		
														時吉　正男	男	74	農業		
7	鬼塚　幸男	男	74	農業	S41.4～S51.12 S52.4～H2.4 H2.5～	上野組 五月産業 就農	H23.5～H29.4 H元.5～ R2.4～ R2.5～ R6.4～	農業委員 中山間地域直接支払制度塔之原集落協定代表 土地改良区元村新田地区総代 農地利用最適化推進委員 北さつま農協樋脇支所総代	水稲	２５０a	樋　脇		○	木場　祐二郎	男	62	農業	塔之原、市比野、藤本地区において、稲作を中心に農業を行っている。 地域の農地を把握しております。 特に担い手不足による遊休農地の増加があり、農業委員になって、担い手との架け橋となり職務に当たってくれるものと思います。	農地利用最適化推進委員候補者の推薦にあたり、農地利用最適化推進委員として、これからの農業にどう取り組んでいくか食の安全安心にどう取り組むか農業に対し、若者が農業にどう考えているか農業に対してどう勉強していくか取り組んで参りたいです。
														山路　一浩	男	61	農業		
														馬渡　義文	男	71	農業		
8	馬渡　義文	男	71	農業	S49.1～S50.3 S50.4～H27.2	樋脇郵便局 NTT西日本	R5.4～R7.3 R5.5～	上之原自治会会長 農地利用最適化推進委員	水稲 繁殖牛	200a 16頭	樋　脇	○	○	木場　祐二郎	男	62	農業	自身も農業をされており、地元農地の状態を見て精通している。 また、前期も推進員として活躍されているので、今期もお願いしたい。	農業委員会の業務は大きく分けて４つに分類されるが、中でも、農業者の高齢化に伴い、遊休地が増えない様に農業者の声を関係行政機関に対し、意見の提出を行う。
														山路　一浩	男	61	農業		
														鬼塚　幸男	男	74	農業		

薩摩川内市農業委員会　農地利用最適化推進委員候補者の公募状況（個人推薦）

番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴		公職歴		農業経営の状況		応募する地区名	認定農業者区分	推薦者						推薦を受ける者の意見
					年月	勤務先等	年月	公職名	作物・家畜等	耕作面積・頭羽数			代表者	氏名	性別	年齢	職業	推薦の理由	
9	古川　梓	男	78	農業	S40.3～	就農	H19.4～ H28.4～R8.3 R2.5～	中山間地域直接支払制度鳥丸上集落協定代表 農地環境保全組合組合長 農地利用最適化推進委員	水稲	23,000a	東　郷		○	新屋　純子	女	77	農業	東郷町の田、畑、山に詳しく農業に対する姿勢には真摯なものがあります。	休耕田が毎年多くなっています。 地主の高齢化が進み労力不足になっています。 仕事に楽はないが、何かできること等、少しでも協力できたら良いと思います。
														小園　光男	男	66	農業		
														山下　武徳	男	73	農業		
10	山下　武徳	男	73	農業	S46.4～S48.9 S48.10～R2.12	大同製鋼株式会社 有限会社下麦コンクリート工業	H元..4～H2.3 R5.4～R8.3 R5.5～	五社下自治会長 斧淵地区コミュニティ協議会監事 農地利用最適化推進委員	水稲 野菜	10a 5a	東　郷		○	新屋　純子	女	77	農業	斧淵の地理にくわしく、農業に対する知見も深い。	農業従事者の高齢化が進み、遊休農地等が増えています。 地区の人に相談して、少しでも遊休農地等が増えないようにしたいです。
														小園　光男	男	66	農業		
														古川　梓	男	78	農業		
11	萩元　輝彦	男	39	農業	H19.4～H24.6	株式会社奥園産業	R2.4～R7.3 R7.4～	中山間地域直接支払制度黒武者集落協定代表 中山間地域直接支払制度大馬越集落協定代表	水稲 ハウスキンカン	４００ａ ３３ａ	入　来	○	○	髙木　成寛	男	71	農業	萩元氏は、農業大学校卒業後、長年にわたり、本市の農業振興に慢心されており、現在、米４ha、キンカン３３aの経営を行う認定農業者として、優れた栽培技術と経営感覚を有しておられます。 また、大馬越集落協定の会長として、地域の共同活動を牽引するなど、周囲からの信頼も厚く、卓越したリーダーシップを発揮されています。 現場に精通した知見と集落会長として培われた調整力を活かし、農地の集積・集約化および遊休農地の解消に大きく貢献していただける人材であると確信し、ここに推薦いたします。	私は、今、集落協定の代表として集落内の田畑を維持管理しています。 その中でも、毎年、休耕田などが増える一方で、私自身も大変困るところでありました。 私が農地利用最適化推進委員になることで、地域内の農家の方々とのつながりを通じて、少しでも農地を維持して行こうと思います。
														豊田　孝之	男	46	農業		
														梶原　拓二	男	59	農業		